

メールマガジン

# E-roken

<https://www.roken.or.jp>

2024年  
11月15日 現在  
第488号まで  
配信中

<登録・配信に関するお問い合わせ先> 公益社団法人 全国老人保健施設協会事務局  
TEL : 03-3432-4165 E-mail : [info@roken.or.jp](mailto:info@roken.or.jp)

## 編集後記

いま、2020年版の合計特殊出生率の推移を眺めている。1950年から始まり、おおむね出生数と連動して推移してきたのだが、2005年以降、合計特殊出生率が一度上昇傾向になったにもかかわらず、出生数は上昇せず低下の一途を辿っている。出生率が上がれば出生数も上がりそうだが、実際はそうではない。さまざまな原因や見解はあると思うが、この原因は「率」の問題ではなく「数」の問題で、15歳～49歳の人口が減っているからだと考えられる。人数不足が今後も続く以上、出生率改善だけでは人口減少は好転しにくい。

2024年に出入国管理法などの改正案が国会で可決・成立し、創設される育成就労制度は特定技能1号水準に外国人人材を育成する制度であり、永住権取得につながるものである。これは

有望な介護人材の確保だけでなく、日本の未来を好転させる一歩になり得る。受け入れ自体が大きな社会貢献ともいえるのではないだろうか。

実情、介護は生活・文化・認知症など、対象が極めて個別的で、対応も属人的になりやすく、さらに言葉に頼る仕事であるため、外国の方には難しく、教育する職員も悩みが尽きない。双方に日々数えきれないほどの葛藤が続く。

しかし、改めて一昔前を思い返すと、気がつかないうちに生活・価値観・考え方のなかには大きく変わっていることがたくさんある。色即是空、諸行無常である。想像を超えて人は変化していくこともまた事実である。前途洋々な変化であればなお良い。

皆さまは育成就労制度をどうとらえていますか？  
全老健広報情報委員 小林良成

次回 老健1月号 予告

| 新春対談 |

黒田 秀郎 厚生労働省 老健局長  
東 憲太郎 全老健 会長

| 特集 |

地域における  
「複合施設」展開の有効性

老健 月刊 全国老人保健施設協会機関誌

2024年12月号 (第35巻第9号 通巻353号)  
定価990円 (税・送料込) ※会員購読料：会費に含む

編集発行人—東 憲太郎  
発行所—公益社団法人全国老人保健施設協会  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル6階  
Tel 03-3432-4165 / Fax 03-3432-4172

E-mail [info@roken.or.jp](mailto:info@roken.or.jp)

HP <https://www.roken.or.jp>

HP  LINE  facebook 